

8割超が「リアル開催のインターンシップの方が、満足度が高い」と回答。 「リアルのほうが、企業の雰囲気分かりやすい」の声

株式会社学情（本社：東京都中央区）は、2026年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、インターネットアンケートを実施。今回は、「インターンシップの参加形式」について調査しました。インターンシップやオープン・カンパニーの参加形式について、「リアルとオンライン両方の参加を経験している」と回答した学生が58.1%に上りました。また参加形式別の満足度について、9割に迫る学生が「リアル」で参加したプログラムのほうが、「オンライン」参加よりも満足度が高いとしています。「リアルのほうが、企業の雰囲気が分かりやすい」「リアル開催のプログラムのほうが質問しやすく、グループワークなども円滑に行えた」「リアルで参加したほうが、参加した学生同士で話しやすい」といった声が寄せられています。

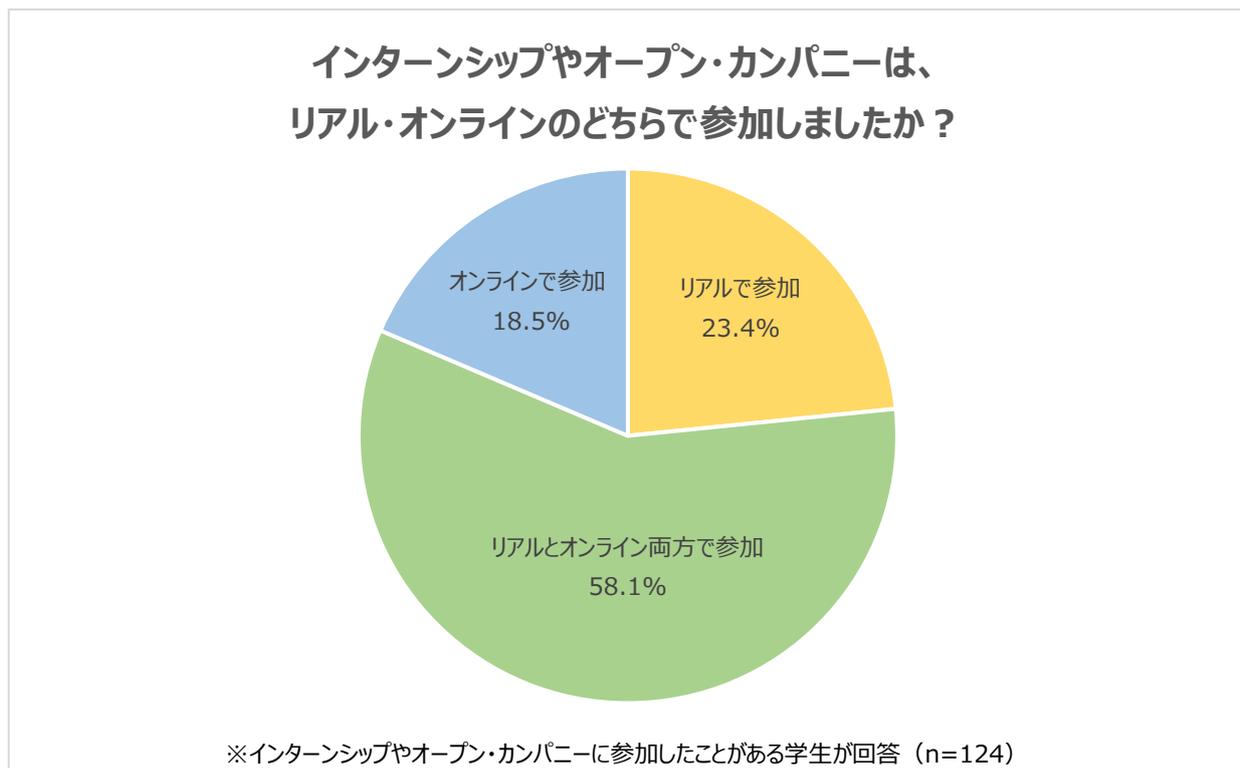
【TOPICS】

- (1) インターンシップ、オープン・カンパニーの参加形式は「リアルとオンライン両方」が約6割
- (2) 「オンライン」より、「リアル」で参加したインターンシップの満足度が高いと回答した学生が9割に迫る

【調査の背景】

WebセミナーやWeb面接など、就職活動におけるオンラインの併用が定着するなか、「企業の雰囲気を知りたい」「ミスマッチを減らすために、直接話す機会を持ちたい」とリアルの大切さも見直されています。2026年卒学生は、インターンシップやオープン・カンパニーを「オンライン」「リアル」どちらの形式で参加しているのか、満足度が高い参加形式はどちらなのかアンケートを実施しました。

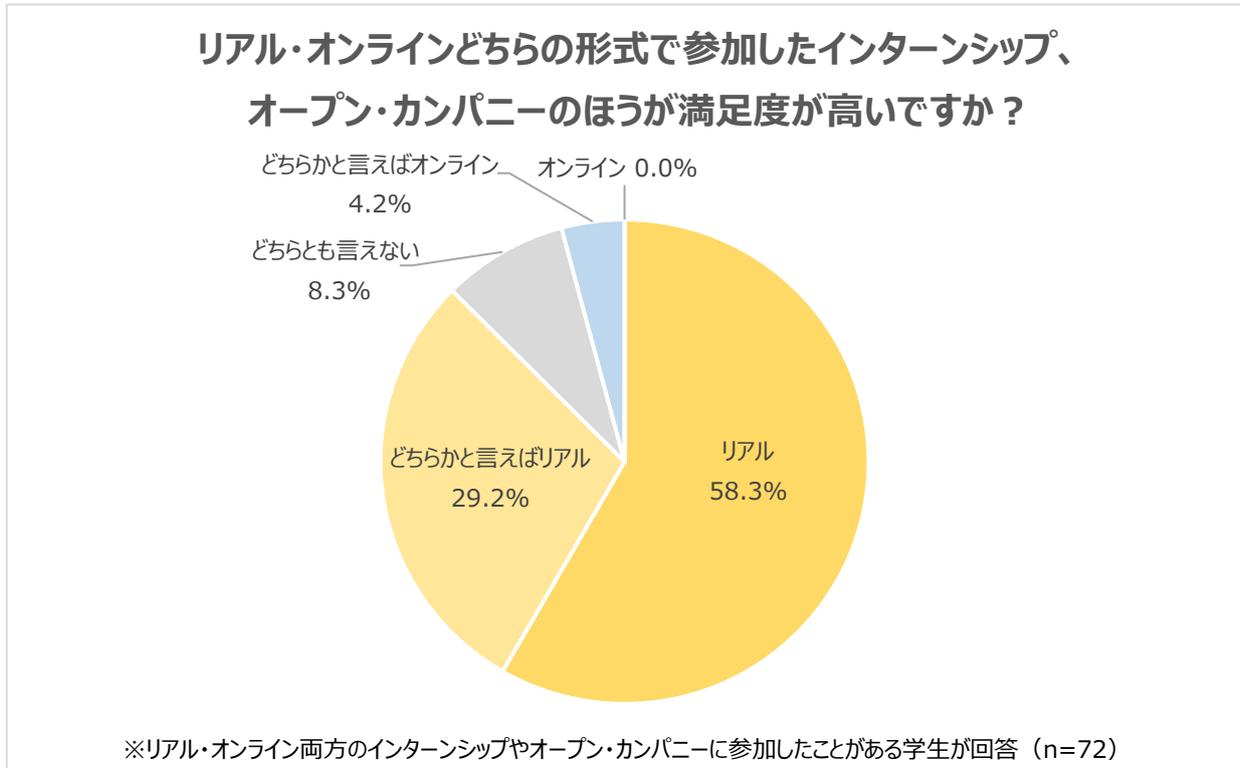
- (1) インターンシップ、オープン・カンパニーの参加形式は「リアルとオンライン両方」が約6割



インターンシップやオープン・カンパニーの参加形式について、「リアルとオンライン両方の参加を経験し

ている」の回答が58.1%で最多となりました。次いで「リアルで参加」23.4%、「オンラインで参加」18.5%となっています。

(2) 「オンライン」より、「リアル」で参加したインターンシップの満足度が高いと回答した学生が9割に迫る



インターンシップやオープン・カンパニーの満足度について、「オンライン」より「リアル」で参加したプログラムの満足度が高いと回答した学生が58.3%に上りました。「どちらかと言えばリアル」29.2%を合わせると、9割に迫る学生が「リアル」で参加したプログラムの満足度が高いとしました。「リアルのほうが、企業の雰囲気分かりやすい」「リアル開催のプログラムのほうが質問しやすく、グループワークなども円滑に行えた」「リアルで参加したほうが、参加した学生同士で話しやすい」といった声が寄せられています。

■調査概要

- ・調査期間：2024年9月13日～2024年9月24日
- ・調査機関：株式会社学情
- ・調査対象：「あさがくナビ2026（ダイレクトリクルーティングサイト会員数No.1）」へのサイト来訪者
- ・有効回答数：224件
- ・調査方法：Web上でのアンケート調査

※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が100.0%にならない場合があります。

■株式会社学情とは

株式会社学情は、「つくるのは、未来の選択肢」をパーパスに、20代社会人・学生の転職・就職を支援するサービスを提供しています。一貫してキャリアの起点となる「初めての転職」「就職」を支援。これからの担う世代にひとつでも多くの選択肢を示すことで、働き手・企業・社会の未来に貢献していきます。

[東証プライム上場・経団連加盟企業／主な提供サービス：20代専門転職サイト「Re就活」、スカウト型就職

サイト「あさがくナビ」、合同企業セミナー「転職博」「就職博」、転職エージェント「Re就活エージェント」]

■お問い合わせ先

株式会社学情 経営企画部 広報担当

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 9階

TEL：03-6777-7590（直通） FAX：03-6263-9033

メール：press@gakujo.ne.jp

コーポレートサイト：<https://company.gakujo.ne.jp/>

株式会社学情のプレスリリース一覧：https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/13485